



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 あつぷる	代表者	代表取締役 山下 裕史	法人・事業所 の特徴	利用者様とご家族様の状況に合わせ、急な宿泊希望、時間延長、早期受け入れ等、柔軟な対応を行っています。ご家族様の状況に沿った利用が出来る事により、ご利用者様が安心して自宅での生活が送れるよう、地域の方々の協力を得ながら支援していきます。法人グループ内介護事業間で連携を図る事により、安心した生活を送っていただけます。
事業所名	あつぷる多機能広畑	管理者	竹國 有紗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	引き続き、非常勤も含めた職員とともに事業所自己評価に取り組み、質の向上に向けて推進していく。	・今回は5名の職員に関わってもらい取り組んだ。 ・スタッフ会議では管理者も含め10名の職員で話し合い、具体的な改善計画を作成できたと感じています。	・業務多忙の中、職員さん全員で事業所評価など取り組んでいるのがよく分かりました。	引き続き、非常勤も含めた職員とともに事業所自己評価に取り組み、質の向上に向けて推進していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	地域の方や利用者にとって利用しやすい、相談しやすい環境作りに向けて検討をすすめていく。	・感染対策をしながら、外出ツアーを再開、また地域の行事に参加することができました。 ・スタッフミーティングを毎日実施し情報共有ができた。 ・利用者にとって安心して過ごせる施設、場所となるよう職員全員で話し合う時間をもつことができた。	・外出行事が増えとても喜んでいきます。喫茶店など行くことで気分転換になっていると思います。 ・面会や行事に家族も参加できています。	引き続き、感染対策をしながら、地域の方や利用者にとって利用しやすい、相談しやすい環境作りの検討をすすめていく。
C. 事業所と地域の かかわり	地域との交流も含めた年間行事計画をたて実施していく。また、地域の行事を把握する。	・年間行事計画に沿って、おおむね実施することができました。 ・感染対策をしながら、地域の保育園やボランティアの方の来訪も受け入れし交流ができました。	・年間行事に沿って取り組んでおられるのがよくわかりました。 ・感染対策は必要ですが、ボランティアさんや近隣の保育園児さんとの交流ができ利用者様も喜ばれたと思います。	地域の行事を把握し、それに沿った地域との交流を含む行事計画を作成していく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域との繋がりが保てるよう自治会や民生委員、地域包括支援センターと連携を図り情報共有を行う。利用者が自宅や地域で過ごす際に困りごとがないか、把握していく。	・ご自宅でも困りごとがあれば相談しやすい事業所として、家族ともコミュニケーションを図るよう取り組んだ。 ・地域との関わりが保てるよう、地域の行事の情報収集を行い、参加することができた。	・自治会の行事の案内など連携がとれていますね。 ・地域で介護相談があれば、利用の提案や情報共有ができ利用者も家族も安心されていると思います。	地域との繋がりが保てるよう引き続き自治会や民生委員、地域包括支援センターと連携を図るとともに、地域での介護相談が出来るよう検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議での報告が一定になっている為、より多くの意見がもらえるよう、テーマを変えたり議題を検討していく。	・運営推進会議の議題、テーマが同じ内容になっていると感じています。 ・今年度は職員も参加し取り組むことができた。	・テーマを決めていると良いかと思います。事前にテーマを決めて頂けたら特殊詐欺や防災をテーマにし情報共有したいと思います。	運営推進会議で、より多くの意見がもらえるよう、事前にテーマを定め、議題を検討していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	避難訓練の実施とあわせて、自然災害や感染症によるBCP計画（事業継続計画）を作成し取り組んでいく。	・火災や水災害等を想定した避難訓練を実施しました。 ・BCP計画作成後、随時、計画内容を見直していきたいと思っている。	・自治会の防災アナウンスなど聞こえにくい立地ですので、災害の時に連絡がとれるように管理者さんや事業所の連絡先が分かりやすいものがあればと思います。	地域の実情とあわせて、自然災害や感染症によるBCP計画（事業継続計画）を見直していく。